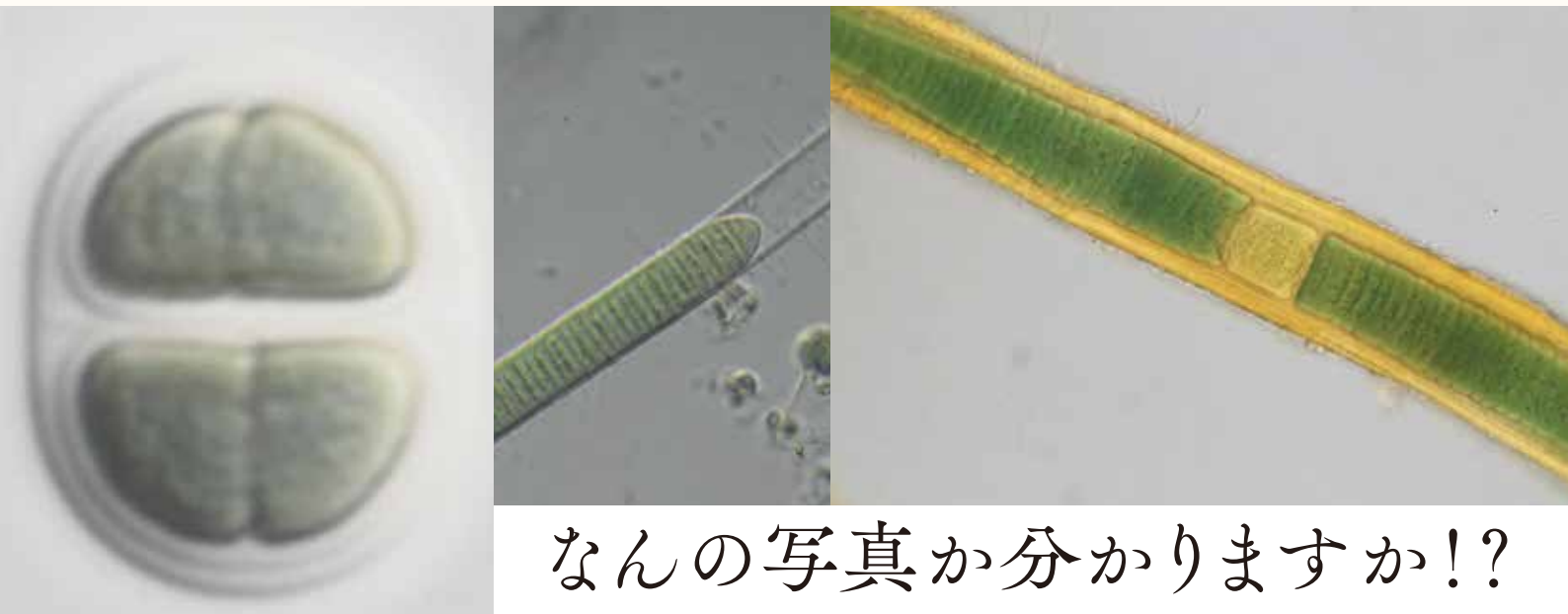


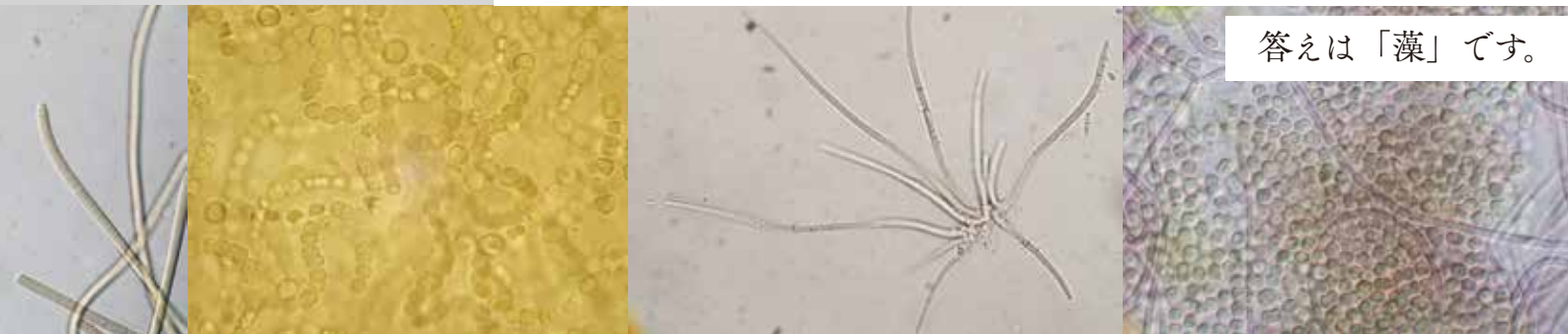


南三陸藍藻紀行

～化石の町の生きた化石たち～



なんの写真か分かりますか!?



答えは「藻」です。

2020 **1.16** (木) [18:30 開場] 19:00 - 20:30

会場

南三陸町生涯学習センター

第一研修室にて [南三陸町志津川字新井田 165 番地 1]

参加費

入場無料

主催：南三陸ネイチャーセンター友の会

令和元年 南三陸町おらほのまちづくり支援事業補助金 採択事業

講師

南三陸町自然環境活用センター
任期付職員（主事）

福岡 将之（ふくおかまさゆき）

東京都出身。東日本大震災の年に高校を卒業し、東京海洋大学へ入学。東京海洋大学大学院修了後、2018年4月より南三陸町の任期付職員へ。専門分野は海産藍藻類の分類学。



私たちの食卓に上る海藻たちは「藻 = 藻類」の仲間です。

でも、藻類には普段はなかなか見ることができない顕微鏡サイズの小さな仲間たちも含まれています。私の専門である「藍藻」も、そのひとつです。

藍藻は 30 億年前から存在する最も原始的な藻類のグループで、地球上の酸素を作り出すなど、地球環境に大きなインパクトを与えてきた生きものです。とはいえ、実は彼らは海・川・池などの水辺や街中、はたまた温泉 etc …地球上のいたるところでヒソリかつ元気に暮らしています。

藻類って? 藍藻って? そもそもそんな生きものを研究している人って? 講座では、南三陸でみられる藍藻たちを紹介しながらお話しします。南三陸自然史講座史上最もマイクロで最もダイナミックな藍藻たち。そんな藍藻たちの魅力的な世界を一緒に探検しましょう!